



TITLE:

# 彙報(2007年4月-2008年3月の研究 ・教育活動)

AUTHOR(S):

---

CITATION:

彙報(2007年4月-2008年3月の研究・教育活動). 教育行財政論叢 2008, 11: 139-142

ISSUE DATE:

2008-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/173808>

RIGHT:

## 彙 報（2007年4月～2008年3月の研究・教育活動）

### （1）研究（執筆物）

○高見 茂（教授）：

- ①「収支に関する制度」「補助金の適正化」「授業料等の学校納付金」杉原誠四郎監修、  
『必携学校小六法2009年度版』2007年
- ②「教育再生を実現する財源の確保」市川昭午・若井弥位一編『教職研修2007年9月号』
- ③「メリハリある教員給与」教職研修増刊編集部『「学校重要新語」完全マスター』2008年
- ④「はじめに」「スクール・ファンド」「PFIの証券化」「地域資金」「歳入の歳出への影響力分析」「集権と分権、そして税制改革」（高見 茂代表『公教育財源の効果的調達と配分方法に関する総合的研究－平成18年度－19年度文部科学省委託事業新教育システム開発プログラム 平成19年度報告』2008年
- ⑤「金主方、学校法人その実力と可能性」『教育行財政論叢11号』2008年

○金子 勉（准教授）：

- ①「大学ガバナンスの主体の構成原理－ドイツ・モデルの現在－」『日本教育行政学会年報』34, 2008年
- ②「書評 鳥居朋子著『戦後初期における大学改革構想の研究』」『教育制度学研究』15, 2008年

○谷村 綾子（大学院博士後期課程学生）：

- ①「全国的自治体合併と教育費支出の動向」『公教育財源の効果的調達と配分方法に関する総合的研究：教育資金動向の調査研究』平成19年度文部科学省委託事業「新教育システム開発プログラム」（採択番号24）報告書（2008年）

○桐村 豪文（大学院修士課程学生）：

- ①「アンケート調査結果の分析（6）企業」『公教育財源の効果的調達と配分方法に関する総合的研究：教育資金動向の調査研究』平成19年度文部科学省委託事業「新教育システム開発プログラム」（採択番号24）報告書（2008年）
- ②「民間資金活用手法の有効性と限界（1）CSR・SRI」『公教育財源の効果的調達と配

分方法に関する総合的研究：教育資金動向の調査研究』平成19年度文部科学省委託事業「新教育システム開発プログラム」（採択番号24）報告書（2008年）

○三宅 浩子（大学院修士課程学生）：

- ①「アンケート調査結果の分析（2）小・中学校長」『公教育財源の效果的調達と配分方法に関する総合的研究：教育資金動向の調査研究』平成19年度文部科学省委託事業「新教育システム開発プログラム」（採択番号24）報告書（2008年）
- ②「民間資金活用手法の有効性と限界（2）スクールファンド」（高見茂共著）『公教育財源の效果的調達と配分方法に関する総合的研究：教育資金動向の調査研究』平成19年度文部科学省委託事業「新教育システム開発プログラム」（採択番号24）報告書（2008年）

○江上 直樹（大学院修士課程学生）：

- ①「イノベーション普及過程論から見た我が国の進路指導の歴史的展開」関西教育行政学会『教育行財政研究』第35号（2008年）
- ②「アンケート調査結果の分析（4）教育委員会」『公教育財源の效果的調達と配分方法に関する総合的研究：教育資金動向の調査研究』平成19年度文部科学省委託事業「新教育システム開発プログラム」（採択番号24）報告書（2008年）

○脇 奈七（大学院修士課程学生）：

- ①「アンケート調査結果の分析（5）自治体」『公教育財源の效果的調達と配分方法に関する総合的研究：教育資金動向の調査研究』平成19年度文部科学省委託事業「新教育システム開発プログラム」（採択番号24）報告書（2008年）
- ②「教員評価の先行研究および教育委員会の取り組み状況に関する報告」国立教育政策研究所『教員の質の向上に関する調査研究（1年次報告書）』平成19年調査研究等特別推進経費調査研究報告書（2008年）

## (2) 博士論文・修士論文・卒業論文

2008年3月：

### 【修士論文】

- 桐村 豪文 「市場メカニズムに基づく大学経営の有効性の限界  
— 学生の大学選択に着目して —」
- 三宅 浩子 「オルタナティブな教員資格に関する制度設計の理論的検討」

### 【卒業論文】

- 内海 圭吾 「キャリア教育に関する政策評価の有効性  
— CVMを利用した職場体験の評価を通じて —」
- 高山枝里子 「義務教育段階における学校選択制の政策意図  
— 統廃合の観点から見る日本の学校選択制 —」
- 田中 淳也 「A大学AO入試の求める学生の確保に関する検証  
— 在学生に対するアンケート調査を通じて —」
- 中西 梓 「政策課題としての不登校に関する考察」

## (3) カリキュラム（講義・特論・演習等）

2007年度：

- 【講 義】 ①「教育政策学入門」（後期）— 高見茂  
②「教育行政学概論Ⅰ」（前期）— 高見茂  
③「教育行政学概論Ⅱ」（後期）— 高見茂  
④「憲法第一部」（法学部と共通、前期）— 大石眞  
⑤「憲法第二部」（法学部と共通、後期）— 土井真一  
⑥「行政法Ⅰ部」（法学部と共通、前期）— 芝池義一  
⑦「行政学」（法学部と共通、前期）— 秋月謙吾  
⑧「財政学」（経済学部と共通、前期）— 植田和弘  
⑨「教育法学」（前期）— 金子勉  
⑩「教育経営学Ⅰ」（後期）— 前田尚樹

- 【特 論】 ①「教育資源配分論Ⅰ」（前期）— 川島啓二

②「教育資源配分論Ⅱ」(前期) — 高見茂

③「教育政策形成論Ⅰ」(後期) — 金子勉

④「教育政策形成論Ⅱ」(前期) — 高見茂

【研究】 ①「比較教育政策学研究」(通年) — 高見茂(前期)・杉本均(後期)

【課題演習】 ①「教育政策学専門ゼミナール」(通年) — 高見茂・金子勉

②「相關教育システム論基礎演習Ⅲ」(通年)

— 杉本均(前期)・金子勉(後期)

③「教育政策学演習」(通年) — 高見茂・金子勉